日　時：令和 8 年 10 月 10 日（土）
10 時～10 時 35 分
場　所：ミズノスポーツプラザ潮芦屋多目室
出席者：伊藤部長、田嶋室長、高橋課長
住民 7 名

【開　会】

芦屋市：挨拶および自己紹介

【質疑応答】

芦屋市：資料に沿って説明
ご質問があればいただきたいと思いますが。いかがでしょうか。
市　民：ミズノさんとの契約が一旦終わるという事をお聞きしてるんですが、そもそもミズノさんとの契約期間はいつからいつまでですか。
芦屋市：平成２８年の４月から令和９年３月までの１０年です。
市　民：ミズノさんは実際１０年以上前からここにある。そのたびに更新をしてきたということですか。
芦屋市：その前はミズノさんに暫定な利用という形でやっておったように聞いておりまして、正式にこの土地につきまして、市と契約を結んだのは１０年前と聞いています。
市　民：今回の募集するのもここから１０年ということですか。
芦屋市：そういうことです。
市　民：１０年以前は兵庫県の賃借でした。兵庫県から借りていた。芦屋市が１０年前に買い取った形です。
芦屋市：ミズノさんと芦屋市の関係ですが、土地は芦屋市が持っているんですが、そこをミズノさんに借りていただいて賃借料をいただいています。活用方法としては、社会教育機能を有する健康増進施設の具体の形としてスポーツ施設として今ご活用いただいておりまして、地域交流に資する施設とか付帯施設という形で運用いただいている。市から運用の補助金は出してるとか、そういう形は全くなくて、芦屋市が持ってる土地をミズノさんがお借りいただいて、こういう形で事業を実施していただいて、賃料を芦屋市がいただいているというフレームワークになってまして、このフレームワークで、次の１０年間も公募して、事業者様にやっていただきたい。だいたいイメージはそんな感じです。
市　民：半年後のことなので、実際には何か具体的に、公式なものではないけど、なにかイメージはできてたりするのですか。すでに公募の問い合わせはあったりするのか。
芦屋市：ちょっと前に、サウンディング調査を実施しました。「こういう事業があります、ご興

味ありますか」という形で、事業者の方にお願いしたんですが、複数いただいておりました。実例を挙げますと、乗馬クラブやテニスクラブ、具体的に公募したときそこが手を挙げるかどうかまでは分かりません。ミズノさんに関しても、まだ積極的にアプローチをかけていませんので。やはり公募という形になりますので。

市　民：今までの経緯のことを行政の方もなかなかご理解されてないと思いますんで、私も 23 年前にここに小学校を建設するということで、最初山中市長がここに作ると言われて、皆さんからいろんな反対があって、頓挫したという経緯があります。その後にここを兵庫県が教育施設用地として芦屋市にこういう風にしませんかと話を出しまして、今のこども園と、地域からは何か要望があるなら声を出してほしいということで、当時の自治会連合会のブロックで皆さんにアンケートを取って、こういう施設がほしいですということで、７回の住民説明会を１年間繰り返しながら、結局、今のこども園とミズノスポーツに市民開放の部分とちょっとした図書館施設がありますけど、そういうことで決まったという経緯があります。住民側、当時の住民代表としては、ここに小学校ができないので、この南芦屋浜地区に芦屋市の基本インフラになる施設を、文化的な施設を、体育施設はいっぱいあるので、文化的な施設を作ってほしいと要望を出したんですけれども、それは却下されてしまって、5 年後、10 年後、海岸地域の声を聴きながら、皆さんが望む施設を求めていきましょうとなったんですけど、それも 10 年の歳月の間に薄らいでしまって今のような状況になっている。
一番大事なことは、近隣住宅街に、我々が先住していたのにミズノスポーツができた。その当時騒音の対策をしっかりやっていただくということで住民側としては仕方ないので、ちゃんとそれを構築してくださいねということで、やってもらって、こども園の騒音対策はしっかり対応していただけたのに、ミズノスポーツさんはほとんどできなかった。当時公募には騒音対策をしっかりやるようにと入っていたが、できなかった理由がお金がない、その当時芦屋市は兵庫県の賃料より芦屋市が協力して事業者に、しっかり賃料を下げてそういうことにならないように対策も講じて、市民のための施設にするべき、やりますと住民説明会の議事録にも残ってるんです。それが全くできてなく。当時の部長さんとミズノスポーツさんと皆さんで協議をしたんです。どうしてそういう対策が講じられずにしかも、夜中にバイト一人で騒音まき散らして運営してるみたいなことがあったので、出来上がってから 3，4 か月後に皆さん集まっていただいて聞いたところ、ミズノスポーツの取締役も来られたんですが、芦屋市の賃料が兵庫県の賃料と全く変わってなくて、市民開放部分とか図書施設とかいろんなことをやってるんで、赤字ギリギリで存続が厳しいとその当時言われたんです。だから防音の施設は順調に軌道に乗るまで待ってくださいということで、それから９年ほど経っている。未だに講じられていない。この閑静な住宅街の中にミズノさんが大きな音を出されますので、そこの対策をしっかりと新たな事業さんにはお伝えして対応していただきたい。もう一つは、夜１１時まで営業されてる時間帯が結構あるんで

すけど、夜も遅くには大きな音を立てないサイレントタイムとして運営してください、いろんな内容をミズノさんと地域で取り組みをして運営していただいてまして、支配人さんが変わられてもそのあたりしっかりやってくださっていて、これは単なる私の一存ですけど、今総合公園の指定管理もミズノさんがしっかりやっていただいている評価ですし、ミズノスポーツさんは子会社ですし、今のまま地域としては継続してやっていただく方が様々な諸問題に対しては対応していただけると。ただ、先ほど言いましたハード面ではしっかりやっていただきたい。もう一つ、わたし 21 年間住んでて、指定管理はじめ、いろんなところで不正行為が毎年のように、この 17、8 年の間におきまして翻弄された住民の歴史があります。そういうことを含めて考えると、今回来られるところも一部上場企業のようなしっかりしたところを選定していかないと。総合公園なんか中小企業が最初の 5 年、次の 5 年やってましたけど、不正の温床になってました。具体的に何が不正かは言いませんが。そういうことによって住民側が翻弄された歴史があります。いまミズノさんが来ていただいてミズノスポーツさんがやっていただいて、そういうことが全くなくなって住民が安心して過ごせるかなと思っていますので、何卒そのあたりもご勘案いただきたい。ミズノさんだけじゃなく、新しい事業者さんはしっかり信頼のおける事業者さんでやっていただけたらと思います。

芦屋市：ありがとうございます。神戸の例で聞いた話ですが、選定をした事業者が、途中で資金ショートしてしまって、そこが撤退して更地になってしまってどうしようもならなくなってしまったというケースも聞いたことがあります。ですので財務面、そういったところをしっかり見ていかないといけないなと思っております。

市　民：10 年前、芦屋市は住民を納得させるため、住民のために賃料を減免して新しい事業者さんに協力して、新しい南芦屋浜の施設として市民に喜んでいただける施設として運営しますと大々的におっしゃっておられますので、今回リセットされますので、しっかり事業者さんの意見も聞いていただいてあげて、ハード側もやらないとだめだし、その辺、賃料のことでもメスは入れていただければありがたいかなと思います。お任せはしますけど。

芦屋市：ハード面となると非常にハードルが高いので、ソフト面に関しましては先ほどもおっしゃっていただいたようにサイレントタイムとかそういったことはきっちりアピールしていただくようやっていただかないとと思っています。仮にミズノさんになった場合ですが。

市　民：ハード面をちゃんと構築していただかないと、それは１０年前の約束にも入ってたんです。その当時市長、副市長含めて相談して決めたことが結果的にはできなかった経緯があるので。そのうえ、私たちがその問題に携わらなくなったというのが事実としてありまして。それは 2018 年の台風 21 号の被害で、ちょうどまさしくその打ち合わせをしようとしていた時にできなくなった経緯がありまして。ですからそこの部分に

関してはハード面の対策をしっかり講じるということを公募に入れて出してください。住民側としては必要最低条件で、この 10 年間我慢してきた。ミズノさん自体を望んでやってもらうつもりはなかったのに、今はもうあきらめて、ミズノさんがまたやられるかどうかはわかりませんが、今はもうあきらめてますので、そのあたりの環境整備はしっかりしてあげてください。地域とミズノさんとは一緒になっていろんな取り組みされて楽しく過ごされているという部分はもちろんありますから、そこは最大限勘案して評価いただいてもいいと思いますけれど、近隣の方が日夜困っておられる方もたくさんいらっしゃるという風に聞いておりますので、ひいては我々にも影響を及ぼす問題ですから、しっかり検討していただいたうえで公募していただきたいなと思っております。

市　民：今の話で関連するかもわかりませんが、今回芦屋市さんが事業者募集されるにあたって、事業者の参加要件というのはどんな感じなんですか。財務面ですとか所在地だとか業態ですとか、なにか縛りを考えておられるのですか。

芦屋市：特に縛りは現在のところは考えてないですが、選定委員さんの方で公認会計士さんも入っていただく予定をしておりますので、そのあたりで選定をいただこうかと思っておりますが。よくあるのが本社がどこにあるかとかいうのはあるんですが、今のところそこまでは考えてはないのですが。何かお考えなどはありますか。

市　民：事業者によってはどんな方がおられるか、影響が大きいものですから。そもそも前段階で何かあるのかと。

芦屋市：ふるい分けというか。

芦屋市：財務の専門家は入りますので、その提出書類の中にはもちろん過去 3 年か 5 年かわからないのですが、過去の財務諸表などを提出していただいて、財務体質であるとか内容は選定の中で評価はされてまいりますので。そういうやり方を芦屋市では結構やってるんですが、仕様上の資本金がいくら以上ではないとだめという基準は基本的にないですけど、財務諸表での評価の上で選定されていきますので、応募されても選定評価の中でこれでは財務状態として将来的に 10 年間という所ではなかなかお任せしずらいよねという評価になれば落とされていくという形にはなるんですけど。資本金がいくら以上でという形ではあまりやっていないです。

市　民：わかりました。

市　民：公募で応募される所は、そこの条件さえ満たせば、どんな業種でも入れるという形で、それはいいんですけれど、一つ心配するのは、そんなことないと思いますけど、癒着とか権力者の意向で曲がってしまう。そういうことを見てきてますので、そんなことが絶対無いようにということと、地域の住民としては、安心感で言うとミズノさんに引き続き継続していただくのがいいんじゃないかなと思うんです。皆さんどう考えておられてるかわかりませんけど。そういう意味では、別にミズノさんから何ももらってないですけど、ご検討というか住民側の意向として、ここで取りまとめるわけ

にはいかないですけど、今まで実績があって悪い評価が市の方に届いてなければ、そういうことも入れてご検討いただけるという風に考えさせていただいてよろしいですか。

芦屋市：実際評価いただくのは、芦屋市の職員ではなくて専門家に入っていただいて評価していきますので、なかなかこちらでそこを操作というのは難しいというかできないのですけど、おっしゃってました通り評価する中では私もいくつかそういう評価の中の事務局やってますのでわかるんですけれども、やはりおっしゃってたように過去の実績という所で、ミズノさんに関して正直悪い評価というのはほんとのところ私は聞いてないんです、それは正直に委員さんにはお伝えするお話しですので、そのうえで評価いただきますので、明確にどういう評価しますかという評価表もオープンにするんですが、そこには過去の実績が良かったかという評価はないのですが、今後市民の方と地域の方としっかり交流していただけますかと、交流施設は条件に入ってますので、というときに、ミズノさんは実績という所はきいてきて、当然応募されてるところもほかのところでたしかにある程度担保できるよねということになると思うんですが、やはりここでの実績というのはミズノさんの強みになると思うので、そこは直接評価というポイントはないのですが、ありとあらゆるところの評価に、ここでの 10 年 20 年の実績というところは出てくるのは確かとは思います。

市　民：地域と年に数回、交流されながら地域を盛り上げていってもらえるような活動もしていただいてるとは私は聞いてますので。

市　民：ミズノさんがやってる部分はいいんですけど、市への返還地の場所ですね、そのあたりの美観整備とかこれを市の方できちんとやっていただきたいのですが、結構草ボーボーだったりとか、荒れ果てていることが結構ありましたから、今回の契約に伴ってあそこきれいにしていただいて、できればその時、整備が必要であればプラスでやっていただければ助かります。

芦屋市：いったんは、市に返ってきてる地図にある斜線の部分の土地ですが、そこも含めて公募をかけますので、できるだけ全体を活用できるようにまず目指したい。

市　民：残念ながらそれが全体でなくなったときは、こまめにやっていただきたいです。

市　民：これもちょっと経緯があったので一応確認しておきますけれど、海側の返還地というのはミズノスポーツさんがタイムズで駐車場を運営されてると思いますけど、そこの賃金うんぬんをキープして、時間帯含めて、それを打ち合わせしたときに、タイムズ側とミズノさん側からここの駐車場が広すぎて、どうしても経費的に難しいんで返還されたと聞いてます。新しい事業者さんが来られたり、ミズノさんの場合でも、一緒に考えていただいてもいいんですけど、特にミズノさんがされる場合だと、ここの返還地が特に活用できない、ということもあるかと思いますので、例えば駐車場の運営の内容に伴って変えていかないとだめだったりすると、また地域とのすり合わせが必要になってくると思いますのでそこらへんを考えていただきたい。それと、ミズノス

ポーツさんとこども園の間の返還地というのは私も今初めて知ったのですが、ここはどちら側の所有物になるんでしょうか、市の方に返還されてて、今回の公募にくっつけて一体化させようとされてるんですか。

芦屋市：そうですね。

市　民：当時こども園さんの駐車場が非常に狭くて利用される方も使いづらいというのがあったので、ここを駐車場にして使えるようにしたらどうですかということで、途中まで話があったんですが、当時の部長さんが反対されてできなかったんです。ここの賃料が上がってしまうとあれかもしれませんが、交通量の多いところで交差点も信号が付いてなくて事故も多いところなんで、この狭い駐車場だけでは多分しんどいと思うんです。ここに防災倉庫とか置くからできませんという風に言われたんです。それがなくなったうえに返還されてることも自分は知らなかったんです。防災のための倉庫を置いて防災用に使うからここは駐車場にはできませんという説明だったんです。なのでそういうことを含めてこども園さんが今困っておられるんであれば、その辺のところも駐車場として使えるような配慮をしていただけないかなという気はしてます。どうせ返還されてるので、ここを使うか使わないか、賃料の問題ってそんなに大きな問題ではないと思うので。それはこども園さんなので、こども教育の部署ですかね。

芦屋市：保育の担当の方が。

市　民：当時の部長からそういう説明を受けてだめになった経緯があるので、もうちょっとうまくここを利用して、ロータリー作って、うまく車がこんなところで停滞せずにいけるようにしてあげてほしいなという思いです。提案していたんですが、却下された経緯もあるので、単純に返還されてやるよりは、そういう機能を出してあげるのがいいのではないかなと。管轄外のことを言って悪いですけれど。

市　民：ちょっと相談していただければと思うんですけれど。

市　民：住民側としてはやむなしの施設だということはご理解してください。しかたなく。

市　民：ほかのものを作っても、破綻するようではダメなので。今の状態で、結構、西宮市とか尼崎の人も来てるんですよね。そこでやっていただければいいかなと思っております。

芦屋市：はい、みなさんご今日に限らずまたご質問いただければ、お答えさせていただこうと思っております。議事録の方作成させていただいて、できるだけ１か月くらいを目途にもう少し時間かかるかもしれませんが。

芦屋市：公募のスケジュールもありますので１か月は無理と思いますが、これだけの人数でいってることなので、皆さんご記憶にはあると思いますので、ありがとうございます。

市　民：よくあるシャンシャン会にはならないよう。

芦屋市：実際公募の条件の中に組み込めることと、決まってからこういうお声がありますのでどういう形で実現しますかとか多岐にわたるとは思いますので、見た目上はご意見いただいたことがなんにもはいってないじゃないかということに見えるかもわかりませんが、いただいた内容は確実にこちらはいただいておりますので、できるだけ話して

いきたいと思っております。説明会の方は今日と、来週１４日の夜を予定しておりまして、２回でいただきましたご意見でまとめまして、公募の方の手続き進めさせてまいりたいと思います。また実際決まりましたらホームページとかという所ではご報告させていただきたいと思っておりますので引き続きよろしくお願いいたします。

芦屋市：よろしいでしょうか。この場でなければ、それではこれでいったん終了とさせていただきます。ありがとうございました。

以　上